



クローバーの「時×空」投資 Time×Space



クローバー・アセットマネジメント株式会社 月次レポート 2019年12月30日基準

★一人ひとりの

金メダル



今年はいよいよ、東京オリンピックの年です。前回の1964年の大会は戦後復興の象徴となりましたが、今回は失われた30年からの再生への象徴としたいものです。

このオリンピックに関して面白い話がありました。友人のイタリア系スイス人の話では東京でトライアスロンの競技が東京湾で開催される事が話題になっていたりとか。どうしてなのでしょう。そもそも東京の様な世界的な大都市の海の水質が、競技ができる水準である事がないとのこと。それどころか最近の水質が良くなりすぎて、東京湾名物の海苔の収穫がめっきり減っているという問題があるくらいだそうです。

以前ですとスタジアムの収容人数を競う様な事があったかもしれませんが、どうやら、世界の「凄い！」の水準が、以前の様な「大きさ」や「速さ」といった量的、経済的なものから、「美しさ」や「正しさ」など質的なものに変化している様です。そういった例えば金融の世界でも、企業への取り組みや社会への貢献、それに企業統治のあり方を投資判断の評価基準となるESG投資が、すっかりお馴染みになって来ま

もう一つ、オリンピックで私が注目している事に、競技種目の増加があります。1964年の前大会では20競技、163種目だったのが、今回では33競技339種目へ、なんと倍以上に増加しています。さらに注目すべきはパラリンピックで、9競技144種目が22競技539種目へ。こちらは3倍以上となり、オリンピックの種目をも大幅に上回っています。こんな

競技もあるのか」とびつくりすることもあります。そんな競技数が増えるのと、金メダルの価値が無くなってしまふのではという意見も聞こえてきそうですが、こんな風に考えては如何でしょうか。

圧倒的にモノが不足していた時代から、大量生産大量消費を目指した近代社会の出現、さらに近年はグローバルゼーションやインターネットの普及によって我々は大概のモノやサービスを安く入手する生活を得ることが出来ました。この大量生産大量消費時代は、皆が「同じ」の方が、また企業は規模が大きい方がより効率が良いわけですから、個人は「同じ」である事、企業はより大きくなる事が良しとされ、個人や企業の個性や違いは評価されなかつたどころか、邪魔なモノの様に思われていたと思えます。大量生産大量消費時代が目的を達成して、大抵のモノやサービスが安価で幾らでも手に入る様になった今日、そういったかつての価値観が大きく変化しようとしています。

つまり「同じ」である事よりも、「違う」事の方が価値がある時代が訪れようとしています。より高い付加価値やより満足度の高いホンモノを創造するためには、異なる人間が楽しみながら共創していくことが不可欠です。競技も、同じ種目で他人と競うより、一人ひとりが金メダルを取れる自らの種目を見つける方が時代にあっているかもしれません。そういう意味では、競技数の増加は時代の趨勢なのでしょう。究極的にはこの地球上の77億人（国連の世界人口推計2019年版より）以上の人々が、自分が世界一になれる77億以上の種目をみつけるのが、これからの理想の姿だと思います。このオリンピック、パラリンピックを機会に、皆さん一人ひとりが金メダルを取れる種目を探してみる、あるいは一番になれる新しい種目を創造してみても如何でしょうか。クローバーも引き続き世

界一「お客様を幸せにできる」ファンを目指したいですね。

多根幹雄



★マーケットコメント

2019年は、一年を通して見ると、米中貿易交渉の行方が相場に大きな影響を与えましたが、結果として、株式市場は昨年の下落を取り戻す年となりました。

年初、米国株式市場は、昨年末の不安定さを引き継いで、大きく下げましたが、FRBパウエル議長が「あらゆる事態に柔軟に対応する」として、前年末のタカ派の発言を修正し、政策金利の引き上げの中止も示唆し、市場のムードは一気に好転しました。懸念の米中の貿易協議も予断を許さない状況とはいえ進展の兆しを見せ、緩やかな上昇をみせました。この傾向は、多少の変動はあるものの4月末まで続きます。日本株式市場も、年初から、アップル・ショックもあり、日経平均株価が一時700円安となりましたが、米国市場の回復もありゆるやかな上昇となります。この傾向は米国市場と同じく4月末まで続きます。

米国株式市場は、5月はじめから急激に下落、月末に向けてさらに大幅な下落となりました。米中貿易閣僚級協議で仕上げられた協定文が中国側から急遽撤回されたのを機に、一気に追加関税の応酬となり、さらに米国は中国の通信大手ファーウェイの市場からの締め出し、さらには彼らへの部品供給自体を遮断する措置に出ました。日本では、5月は年号が令和に代わる歴史的なイベントでお祝いムード一色のスタートでしたが、連休明け大きな下落が始まり、米中通商協議決裂で、日本企業も痛手を受

けることになりました。6月に入っても5月初めに決裂した米中貿易協議の解決の糸口を見いだせない状態のままではあるものの、実質的な最終衝突には至らず、世界経済への影響が、限定的な中、6月末の日本でのG20で米中首脳会議が決まり、完全ではないにしても、解決に向けて動き出すという期待感から株式相場は上昇しました。特にNY市場は、FOMCでパウエル議長が「米経済への下振れリスクが最近強まった。景気拡大を持続させるために適切に行動していく」と発言。実質的に、年内の利下げを容認し、さらに上昇を加速させました。G20中の米中首脳会談でも、貿易協議の再開やフアーエイへの制裁緩和で合意、貿易交渉の進展が期待され、株価上昇に向かいました。日本株式市場も、おおむね好調に推移し、G20中の米中首脳会談の結果を受け、さらに7月に入って大きく上昇しています。(①参照)

8月のマーケットも結局のところは米中貿易摩擦の影響を大きく受けました。6月末の米中首脳会談で貿易協議継続となったものの追加緩和の見直しなど実質的な進展がないため、輸出依存度が低い米国経済には顕著な影響は見られませんが、双方のジャブの応酬で株式相場は大きく乱高下しました。日本株式市場も、米国の状況と同様に、米国の利下げの可能性、また市場の不安定化による安全資産への逃避で円高傾向に向かうことが懸念され、市場参加者が少ない中、下落後の戻りが悪い状態が続きました。(②参照)

WTOが10月1日、世界全体のモノの貿易量について今年の伸び率の予測を発表。それによると、今年の伸び率は1.2%の増加にとどまり、3%増加した2018年に比べて大幅な減速となりました。また、アメリカの製造業の景況感を表す代表的な経済指標が、およそ10年ぶりの低い水準となり、上旬の米国株式市場は、不安定な状況が続きましたが、開催が不安視されていた閣僚級の米中貿易交渉が始まり、初日終了後、トランプ大統領から「うまくいっている」とのコメントがあり、中国も「進展を

望む」と報復の応酬に歯止めをかけた考えを示し、一転、融和ムードとなります。米中の貿易摩擦がさらに深刻になる事態はひとまず回避され、10月中旬から株式市場はリスクオンの状況になり、年末までNYダウは最高値更新を続けます。日本株式市場もNYと同じように、10月中旬からは、もともと出遅れ感があったので急激な上昇となりました。10月30日の米国FOMCの予定通りの利下げ発表があったものの、その後の利下げはいったん棚上げとな



り、ドルは急落(円高)しましたが、下落幅のわりに株式相場には大きな影響はありませんでした。(③参照)

11月に入っても、2020年の大統領選を目指して、中国との融和ムードを盛り上げるトランプ大統領の言動とブレグジットの先送り、相場はリスクオン状態が続いていて、ほぼ年末まで最高値を更新し続けます。

12月の米国株式市場は、トランプ大統領の「香港・人権民主主義法案」への署名(11月末)が中国の反発を招き、米中貿易交渉の進展を妨げるとして、大きな下落でスタートしたものの、「第一段の合意」への双方の前向きな姿勢が見え、3日からリスクオンの状態になりました。13日には、米中両政府が「第1段階の合意」に達したと発表。農畜産物の輸入拡大や知的財産権の保護、技術移転に関して合意したとの中国の発表に、さらに上昇を早め、年末に向けて、最高値更新が続きました。日本株式市場は、前半は、ドル下落(円高)の影響で、大きな上昇はありませんでしたが、13日から急上昇、日経平均は17日には24000円を超えました。それ以降は、ドル安(円高)に押され、米国ほど大きく上昇しませんでした。年間の高値圏で取引を終えました。

さらに年明け以降、イランとの緊張状態による米ドルの下落(円高)等で大きな調整はありましたが、その状況は解消され米国、日本株式市場共にリスクオンの流れは継続しています。

もちろん、クローバーとしては、今後も突発的な出来事による下落リスクにも対応していくべく、十分なキャッシュ比率や、金のETFを一定程度組み入れ、同時に相場の急落に強いファンドなどの発掘も進めていきます。

磯野昌彦





世界のハイイールド債と国債の価格指数



Source :Bloomberg

2019年は、日本の国債市場が比較的安定していたにもかかわらずTOPIXが15%も上昇し、金融資産のパフォーマンスは最も良い一年でした。先進国の株式市場でもパフォーマンスが良かった市場はS&Pで概ね30%も上昇しました。この株高は、市場予想を上回る経済指標によるリセッション・リスク後退を受け、各国中央銀行がいわゆる金融政策の「正常化」を試みるも、この試みが頓挫したことから、さらなる金融緩和に踏み切らざるを得なかった結果です。

一年以上にわたる希望とだましあいの応酬の末、やっと進展が見られた米中貿易問題ですが、市場は専らこのトピックを材料に売買されました。ここに来て、いわゆる「第一段階」の通商合意にはこぎつけたようです。もう一つ大西洋の裏側でも動きがありました。長らく膠着状態が続いていたBrexitも英国総選挙でジョンソン首相が勝利したことで、やっと前進する兆しが見え始めました。

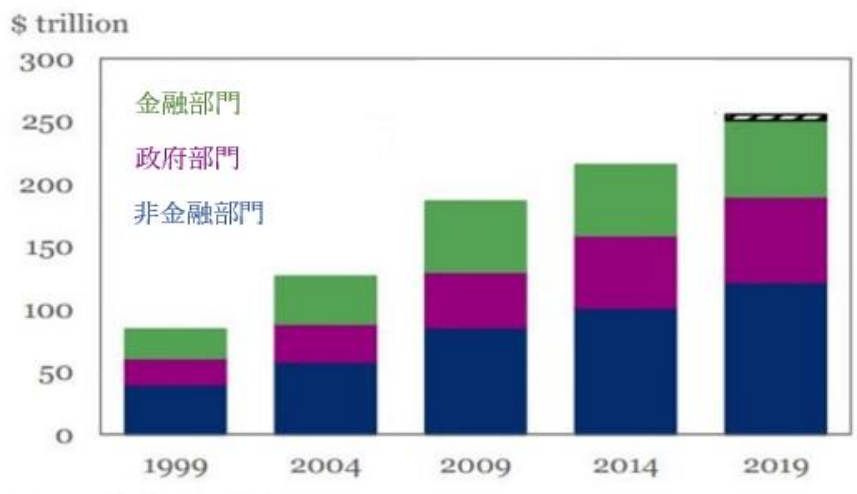
これらの好材料は、国債のような安全資産から株やハイイールド債などのいわゆるリスク資産への大規模な資金移動をもたらしました。しかし不思議なことに、市場がリスク資産への投資機会を探しているにもかかわらず、金価格は相対的に安定しています。理論的には債券市場や為替市場のように、金よりもリスクの高い投資手法への転換が起こってもおかしくないはずですが。

ここから推察するに、もしかするとそうしたリスクの高い投資手法は、はたから見ると望みではないのかもしれませんが。株式市場をさらに細かく見てみると、株式のバリュエーションは上昇し割高感が見られ始めています。テクニカルにみても、株式指数は買われすぎのサインが見られます。政治面に目を転じると、貿易交渉はまだ終わっておらず、意見の食い違いや失望から緊張が高まる可能性も考えられます。概して、市場の高揚感で一喜一憂すべきでないでしょう。

余談ですが、もう一つ最近新たに記録更新したものがありません。それは世界の負債総額です。政府、企業、家計の負債を合計するとなんと250兆米ドルに達します。一方で最近IMFが試算した世界の産出額は86.6兆米ドルであることから、負債額は産出額の2.8倍ということになります。国連の最近の試算によると世界口は78億人であり、(生まれたばかりの子供も含めた)一人あたり負債額は3万2000米

ドルというとても大金額になります。こうした数字は一般の人々の高い関心を集めるでしょうし、中央銀行関係者や金融当局者、金融機関が考慮しなければならぬ重要な要素でもあります。

世界の負債総額は2019年には255兆ドル越えが見込まれる



Source: IIF, BIS, IMF

樋口恭信



【12月の運用コメント】

コムジェスト・グロースワールド、同エマージング、同ヨーロッパが貢献し、前月比は+2.57%となりました。月後半、中小型株に資金が入ったことが大きかったようです。

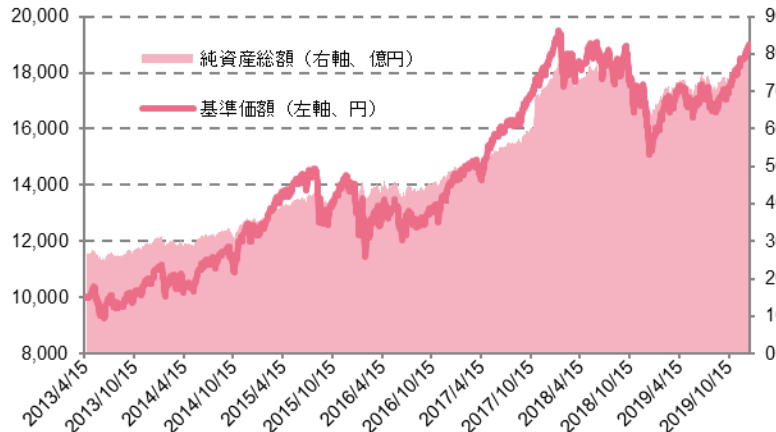
【12月の運用コメント】

コムジェスト・グロースワールド、アトランティス、コムジェスト・ヨーロッパ、同エマージングが貢献し、前月比は+2.67%となりました。月後半、中小型株に資金が入ったことが大きかったようです。月初に金のETFを追加購入しました。

基準価額と純資産総額の推移



基準価額と純資産総額の推移



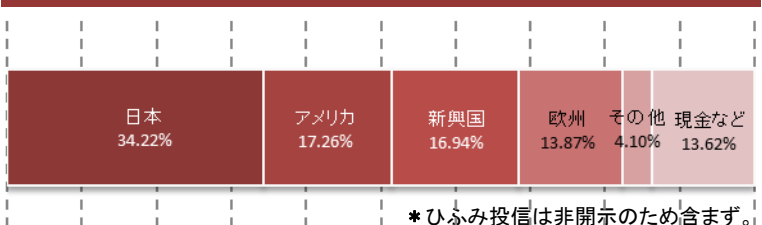
浪花おふくろファンド概況

基準価額	21,833円	信託期間	無期限
純資産総額	1,333百万円	決算日	毎年3月3日
設定日	2008年4月8日	(休業日の場合は翌営業日)	

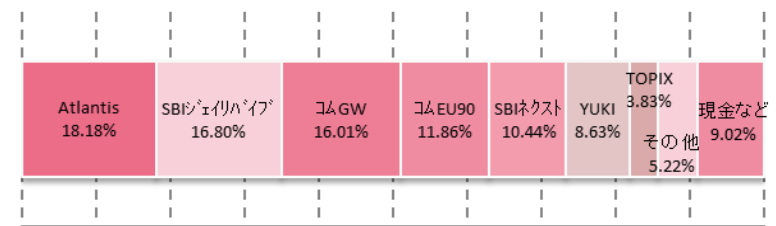
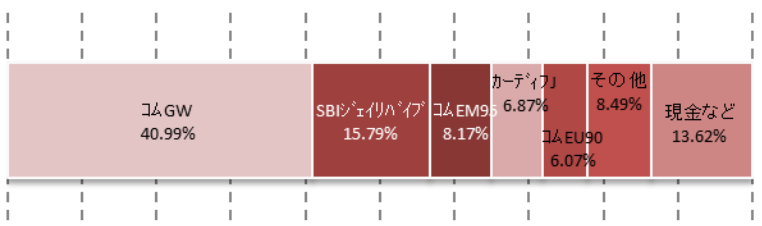
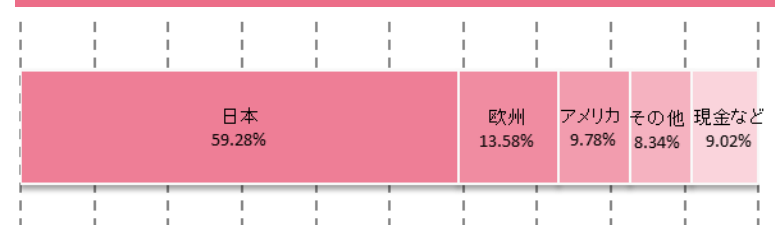
コドモファンド概況

基準価額	18,989円	信託期間	無期限
純資産総額	8,019百万円	決算日	毎年2月25日
設定日	2013年4月15日	(休業日の場合は翌営業日)	

資産構成比率 (組入ファンド全7本) (上段: 国別、下段: ファンド別)



資産構成比率 (組入ファンド全10本) (上段: 国別、下段: ファンド別)



期間別騰落率 (%)

1カ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
2.57%	7.67%	8.63%	16.64%	28.09%	118.33%
				(複利年率)	(複利年率)
				(8.60%)	(6.88%)

期間別騰落率 (%)

1カ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
2.67%	9.43%	11.71%	22.01%	34.83%	89.89%
				(複利年率)	(複利年率)
				(10.47%)	(10.02%)

ファンドにかかわる費用

運用管理費用 (信託報酬)	年率0.99% (税抜き0.9%)
	組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担
	年率1.65±0.25% (税込/概算)

ファンドにかかわる費用

運用管理費用 (信託報酬)	年率1.10% (税抜き1.0%)
	組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担
	年率1.7±0.5% (税込/概算)

コドモファンド及び浪花おふくろファンドにかかわる共通のその他費用・手数料

信託財産に関する租税、投資対象とする投資信託証券の売買に発生する売買委託手数料及びその手数料に対する消費税相当額等の費用、外貨建資産の保管等に要する費用は、お客さまの負担として、信託財産中から実費を負担します。

設定・運用・販売はクローバー・アセットマネジメント株式会社／金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2727号
※比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

【12月の運用コメント】

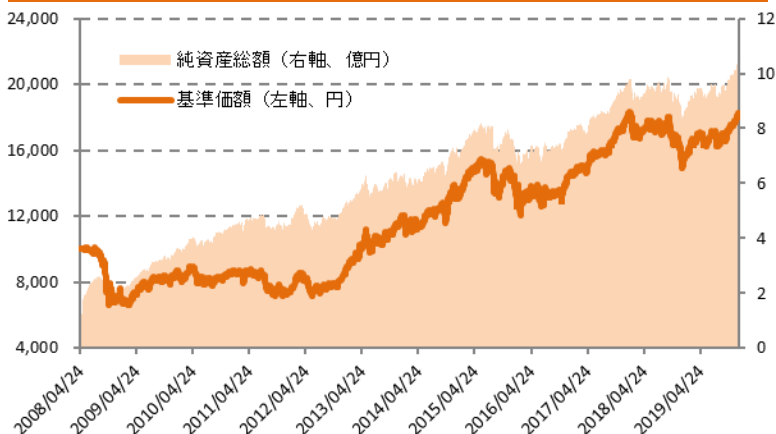
コムジスト・グロースワールド、同ヨーロッパ、同エマージングが貢献し、前月比は+2.67%となりました。月後半、中小型株に資金が入ったことが大きかったようです。月初に金のETFを追加購入しました。

【12月の運用コメント】

コムジスト・グロースワールド、同ヨーロッパ、同エマージングが貢献し、前月比は+3.03%となりました。月後半、中小型株に資金が入ったことが大きかったようです。月初に金のETFを追加購入しました。

基準価額と純資産総額の推移

基準価額と純資産総額の推移



らくちんファンド概況

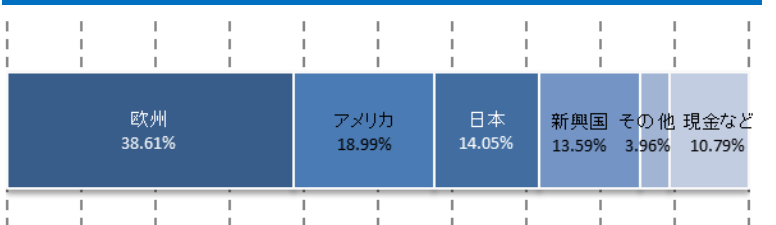
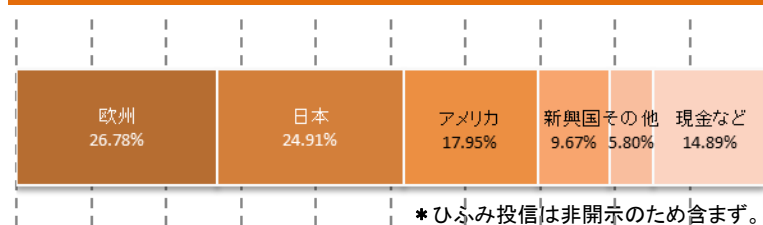
かいたくファンド概況

基準価額	18,244円	信託期間	無期限
純資産総額	1,039百万円	決算日	毎年2月25日
設定日	2008年4月24日	(休業日の場合は翌営業日)	

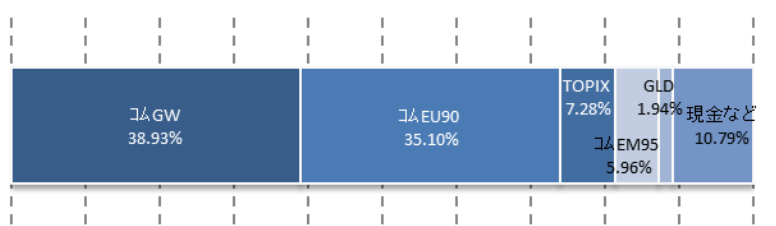
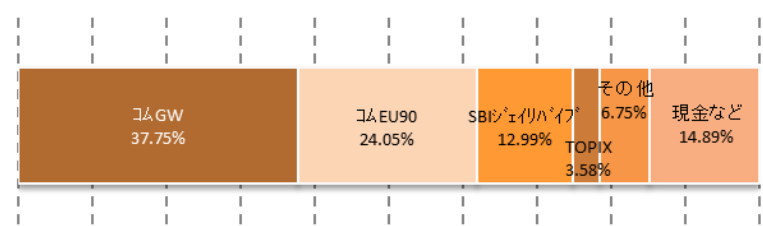
基準価額	22,470円	信託期間	無期限
純資産総額	801百万円	決算日	毎年2月25日
設定日	2008年4月22日	(休業日の場合は翌営業日)	

資産構成比率(組入ファンド全8本)(上段:国別、下段:ファンド別)

資産構成比率(組入ファンド全5本)(上段:国別、下段:ファンド別)



*ひふみ投信は非開示のため含まず。



期間別騰落率(%)

期間別騰落率(%)

1カ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
2.67%	7.79%	8.65%	18.19%	26.17%	82.44%
				(複利年率)	(複利年率)
				(8.06%)	(5.28%)

1カ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
3.03%	8.13%	8.70%	19.74%	32.90%	124.70%
				(複利年率)	(複利年率)
				(9.95%)	(7.17%)

ファンドにかかわる費用

ファンドにかかわる費用

運用管理費用 (信託報酬) **年率0.99%(税抜き0.90%)**
組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 **年率1.55±0.25%(税込/概算)**

運用管理費用 (信託報酬) **年率0.77%(税抜き0.70%)**
組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 **年率1.4±0.2%(税込/概算)**

かいたくファンド及びらくちんファンドにかかわる共通のその他費用・手数料

信託財産に関する租税、投資対象とする投資信託証券の売買に発生する売買委託手数料及びその手数料に対する消費税相当額等の費用、外貨建資産の保管等に要する費用は、お客さまの負担として、信託財産中から実費を負担します。監査費用、信託事務の処理に要する諸費用等は、純資産総額の年0.11%(税抜0.10%)を上限として信託財産から支払うことができます。



クローバー・フェイスブックから

2019年12月13日・21日

★長期投資セミナー 銀座&アメリカ村

『クローバー2019感謝祭』

東京では、夏の「ほろ酔い」で大好評だったエクセレントローカルという銀座8丁目の秘密のレストランで開催しました。まずは、社長あいさつの後、たねころ山で大活躍の田安さんの音頭で乾杯。同時に、さわかみオペラの研修生一期生 神戸薫子さんの「乾杯の歌」がいきなり始まり、皆さん度肝を抜かれる展開になりました。続いて、おなじみライターの馬場さんの日舞。



そして恒例の

「クローバー100

大ニュース」、オファ

イスの改装、投信

大賞、奥出雲ツア

ー、たねころ山イベントなど、今年もいろいろありました。皆さんにも参加してもらいながら、楽しいお話が出来ました。最後は、お子さんを連れての

参加の田村さんに

べをお願いいたし

ました。話の間、

川島さんがお子さ

んを抱っこしてる

など、皆様のおか

げで、家族、親戚

の集まりのような

「クローバー感謝

祭」となりまし

た。

大阪では、大谷さんのご発声で乾杯。ご参加の皆様にも「私の大ニュース」をご発表いただきました。一番手は、中司さん。今年「黄斑円孔」というご病気から回復されたんですが、「人間いつ何があるかわからない。一生懸命生きて、やりたいことは躊躇せずできるうちに！」との宣言されました。二番手は天本さん。みんな「ワンチーム」となって頑張っていきましょう！というお話。トリは、林崎さん。すっかりスマートに、健康に



なりました、という

お話。その続きで名

曲「そんな女のひと

りごと」のメロディ

ーに乗せて替え歌を

歌い、大爆笑となっ

ていました。まいり

ましたね。そして歌

のオネエサン（森）

の登場。最後は、み

んなで「ミカンの花

咲く丘」を合唱して

感謝祭の締めくくり

としました。ありがとうございました。

★12月のBDケーキ★

☆石屋製菓のルビーチョコレートケーキ

銀座SIX限定100台のクリスマスケーキ

キでお祝いました♡



水沼さん おめでとう！！



新年の抱負



◆健康第一で日々乗り切りたいと思う。



田子慶紀

◆「今年の運勢は「相手の要望により東奔西走」だそうです。

◆「今年の運勢は「相手の要望により東奔西走」だそうです。昨年の股関節手術もこのためだったのかなと納得し、さらに健脚（美脚？）になるようダイエットにも努めます。ちなみに昨年は、103回ジムに行きましたので、「今年は110回」とイケメントレーナーにコミットしました。



森京子

◆「一年の計は元旦にあり」というけれど、既に過ぎていく。でもまあ、正月のうちだし、誕生月の誕生日前だから許されるだろう。

◆「おじいちゃん、ゲームやろうー」というんですが、もともとゲーム系は得意とするところでもちろん対戦しましたが、それがフィットネス用の運動をさせるためのゲームだったんです。悪者をやつつけるのに走ったり（その場で足踏み）、飛び上がったたり、大きな輪っかを引っ張ったり、腹筋で押さえつけたり。家内に止められながら一時間頑張りましたが、やっぱり、負けました。もう、ヘロヘロ。この一年かけて、知力、体力を徹底して鍛えなおそうと考えています。やるぞ！



磯野昌彦

◆子ども達の成長に反比例して体力の低下をひしひしと感じるこの頃です。子ども達が一緒に遊んでくれるうちは外で遊びまわれるように、今年は体力をつけたいと思います。



渡辺友子

◆健康のためにと行き帰りはひと駅前で降り、歩くようになりそろそろ半年。これからも継続を目標に、また、今年はヨガに挑戦して（体が硬いので不安ですが）身も心も健やかに過ごしていけたら良いな...と思います。



水沼智子

◆今日よりも明るい明日を心に描いて、決して奢らず、決して怒らず、穏やかな一年にしたいと思えます。そして、週に2回のランニング！人間30分走られるようになると人生が変わるそうです。しっかり走って肩こり解消！体質改善にも励みたいと思います。



韓栄淑

◆今年はずみ年。ちゅう意散漫なわたくし、集中力を高めて何事にも取り組みたいと思っています



岡本葉月



『あいのり投資』ノススメ

1月24日(金)
18:30~21:00

メロミニッツ金山
名古屋市中区古渡町14-24



無料
(交流会参加費
1,000円)
定員20名

多根 幹雄(当社代表取締役社長)
磯野 昌彦(当社専務取締役)



『将来ための“はじめの一步”』 老後への資産運用“初心者限定”セミナー

1月24日(金)
18:30~20:00

当社 会議室
東京都中央区京橋3-3-4 京橋日英ビル3F

無料
定員4名

田子 慶紀(当社取締役業務管理部長)



『ぶらっと銀座で学ぼう会』 “私の年金はどうなる？”

1月30日(木)
14:30~16:20

当社 会議室
東京都中央区京橋3-3-4 京橋日英ビル3F

無料
先着6名

森田久美子氏
(CFP、
1級ファイナンシャルプランニング技能士)



『アメリカ出張報告会』

2月7日(金)
18:30~20:00

東京スクエアガーデン6F
京橋環境ステーション内 研修室1
東京都中央区京橋3-1-1

定員40名
(交流会参加費
1,000円)

無料 多根 幹雄(当社代表取締役社長)



2月8日(土)
13:00~15:00

パリミキ アメリカ村店2Fサロン
大阪市中央区西心斎橋2-10-30

定員35名
(セミナー会場での
交流会はありません)

ファンドにかかわるリスク

当ファンドは、値動きのある国内外の株式等に投資する投資信託証券に投資しますので、基準価額はその影響を受け変動します。
投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではありません。投資による利益および損失は、すべて受益者(投資者)の皆様に帰属します。

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等があります。リスクについての詳細は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ファンドにかかわる費用

当社が扱う投資信託に、購入・換金手数料および信託財産留保金はありませぬ。

当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料はクローバー・アセットマネジメント株式会社が運用するファンドの運用状況をお知らせするために作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)等をお渡します。必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。
- 当資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中に示された意見等は、作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 当社でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。

クローバーから大切なお知らせ

【「令和1年分特定口座年間取引報告書」の
発送について】

「特定口座年間取引報告書」は、特定口座を開設されたお客様へ販売会社が作成・交付するものです。

今回「令和1年分特定口座年間取引報告書」を郵送および電子交付(マイページ)しました。

年間一度もご換金(解約)されなかったお客様について郵送および電子交付(マイページ)を省略させていただきます。

郵送をご希望のお客様は、弊社までお申し付けください。

* 税制改正に伴い、平成31年(2019年)4月1日以後に確定申告書等を提出する場合、「特定口座年間取引報告書」の添付書類の提出が**不要となりました。**

【「取引残高報告書(定期交付)」・
「ご投資状況のお知らせ」の発送について】

「取引残高報告書(定期交付)」・「ご投資状況のお知らせ」を郵送および電子交付(マイページ)しました。

「取引残高報告書(定期交付)」は四半期毎に作成され、その期間のお取引を記したものです。

今回は2019年10月~12月末までにお取引(売買等)があったお客様および期間中にお取引がなくても残高がある場合には、最後のお取引から1年が経過したお客様が送付・電子交付の対象となっております。

【毎月つみたてスケジュール】

次回引落日は、 **2月5日(水)**

2月分金額変更・中止・再開締切日... **1月23日(木)**

3月分新規・口座変更締切日... **2月3日(月)**

* 毎月つみたてサービスの金額変更・中止・再開については、お電話でも承っております。

クローバー・アセットマネジメント株式会社
(受付時間: 平日9時~17時)

お客様専用通話料無料ダイヤル: 0800-5000-968

E-mail: gyoumu@clover-am.co.jp